

平成 28 年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「地区研修(上北地区)」

平成28年5月27日(金) 会場名:おいらせ町みなくる館 ホール

生涯学習・社会教育関係職員研修講座「地区研修(上北地区)」が、5月27日(金)おいらせ町みなくる館において受講者84名で実施されました。

この研修は、県内6地区の地域課題の把握に努め、各地区のネットワーク形成及び課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を実施することとしています。

上北地区では、『上北地方社会教育委員連絡協議会・社会教育関係職員研修会』として開催し、輪番制により今年度は、おいらせ町教育委員会が事務局を担当しました。

午前は、弘前大学大学院地域イノベーション学系長・地域社会研究科長 教授 北原 啓司 氏 を講師にお招きして御講演いただきました。また、午後には、「既存施設を活用した公共施設」についてグループワークを行い、それぞれの発表について御講評いただきました。

1. 講演:【テーマ】「既存施設の活用と住民ネットワークを生かした地域の活性化について」

成長社会から成熟社会へシフトした現代において、ヨーロッパモデルと言われる「スロー・個性化・文化」を主軸とした持続可能な都市づくりの考え方をお話いただきました。今、本当に必要なことは「次代に向けた地域の人材を育てる視点」であり、自分たちの“場所”を持ちたいと考える人々によって「愛され親しまれる公共施設」として、単なる“空間”ではない『まち育て』の発想が大事であるというものでした。それが、既存施設を活用する発想に生かされ、「コンパクト+ネットワーク」によって新しい価値の創造につながるという実践例をまじえたお話に、参加者は真剣に聞き入っていました。

【講義の様子①】



【講義の様子②】



【概要】

- **成長社会** … 都市化社会／新規市街地形成／量的不足への対応策
 - ↓
 - **成熟社会** … 都市型社会／既成市街地再編／質的变化への対応策
- } 対比
- **アメリカモデル** … スピード／均質化／市場
 - ↓
 - **ヨーロッパモデル** … スロー／個性化／文化
- } 対比
- ◎ 現代の**成熟社会**では、**ヨーロッパモデル**の『まち育て』の発想が必要。 “空間”を“場所”に変える
→ 次代に向けた地域の人材を育てる視点 ↑ 愛され親しまれる公共施設

○コンパクトシティ

・コンパクト + ネットワーク → 人・モノ・情報の高密度な交流が実現でき、イノベーションを創出し、新しい集積へとつながる。

・地域コミュニティの活性化と都市基盤の連携による持続的な「元気な地域のかたち」… あじさい型集約都市

○公共施設の適正配置 ～ 今こそ必要な 発想の転換 ・集約する ⇒ 活用する ・たたむ ⇒ 使いたおす

・つくる ⇒ 育てる ・行く ⇒ 居る (居場所)

◎まち育てはエンドレス ～ つくる前から「参加」があるから、できた後にも「参加」が生まれる。

→ **ファシリティマネジメント** … 丁寧につくって、上手に使って、工夫しながら持続させていく。

2. 演習：「既存施設を活用した公共施設」

午後は、県総合社会教育センター職員による演習を行いました。1グループ6人の全12グループで行ったグループワークは、普段目にしていない地元の町並みの中で、自分が気になる施設（場所）はどこかを洗い出し、そこがどう変われば、さらに“愛され親しまれる公共施設”になるかのアイデアを出し合う内容でした。この時のNGワードは“無理”で、考え得る可能な限りのアイデアによる既存施設の活用を中心に話し合いましたが、その様子はとても生き生きとしていて、『まち育て』の発想が随所に盛り込まれたものでした。

発表したグループの内容について、講師の北原氏からそれぞれの講評をいただきました。いずれも、地元の住民にとって“愛され親しまれる”ものであることが大切で、そのための発想の転換とアイデアをどう具現化していくかをお話しくいただきました。

【演習の様子】



【グループ発表の様子】



【講評の様子】



【概要】

○「既存施設を活用した公共施設」について考えよう。(演習：1グループ6人全12グループ)

“愛され親しまれる公共施設”にするには？

○気になる施設（場所）をどう変えたいか ＊ラベルワーク

→ マイナス要因とプラス要因の洗い出し、改善するアイデア ～ グループ内で個々の発表をする。

○個々の発表をもとに、グループとして 1つの施設を取り上げ、その施設についてさらにアイデアを出し合う。

○発表（指名した5つのグループ）

例) 廃校した校舎の利活用、無人駅の活用、～ 講評（北原氏より）

3. 受講者の感想

- ・今日的課題だったので、大変興味深く講師の実践を内容としたもので、深みがありとても良かった。
- ・「集中」ではなく「分散」という注目点に気付かされました。
- ・まちづくりの考え方において、外へ発信して集客しなければいけないと思っていたが、内側から人を動かす必要性を痛感した。
- ・具体的に考えて、まずは実行に移すことが決め手なのだと思います。
- ・元気をいただいた。自分たちで“できる、やれるんだ！”と思った。
- ・保存と保全の違い。地域も人も育てることの大切さを改めて知らされた。